

平成 26 年 7 月 11 日

各 位

会 社 名 JALCO ホールディングス株式会社

代表者名 代表取締役社長 田辺 順一

(J A S D A Q ・ コード 6625)

問合せ先

役 職 ・ 氏 名 取締役管理本部長 大浦 隆文

電 話 050-5536-9824

(再訂正) 「平成 26 年 3 月期 決算短信 [日本基準] (連結) 」の一部再訂正について

平成 26 年 6 月 12 日付で公表いたしました「平成 26 年 3 月期 決算短信 [日本基準] (連結) 」の記載内容の一部に誤りがございましたので、下記のとおり追加で再訂正いたします。

なお、平成 26 年 6 月 30 日付で関東財務局へ提出しております、有価証券報告書には、訂正はございません。

訂正箇所には下線__ を付して表示しております。

記

1. 【訂正理由】

当社の子会社である株式会社ジャルコアミュージックサービスが、平成 24 年 1 月から開始した中古遊技機割賦販売事業において取引先による不正が発覚したために、取引開始から発覚までに行った取引の会計処理を取消しました。

当初は、セグメント名は変更せずに決算短信をご提出しましたが、以上のことを鑑み、会計処理の実態に合わせるためにセグメントの名称を「遊技機レンタル・割賦販売事業」から「遊技機レンタル事業」に変更することが必要であるとの判断から名称変更をしたことに伴い、関連する箇所を訂正するものであります。

2. 【訂正箇所】

2. 企業集団の状況

3. 経営方針

(3) 中長期的な会社の経営戦略

4. 連結財務諸表

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

7 ページ

<訂正前>

2. 企業集団の状況

(省略)

株式会社ジャルコアミュージックサービス

中古パチンコ・パチスロ機器のレンタル・割賦販売を行うとともに、取引対象先ホールの格付や中古遊技台の真正価値を随時調査しております。

(省略)

<訂正後>

2. 企業集団の状況

(省略)

株式会社ジャルコアミュージックサービス

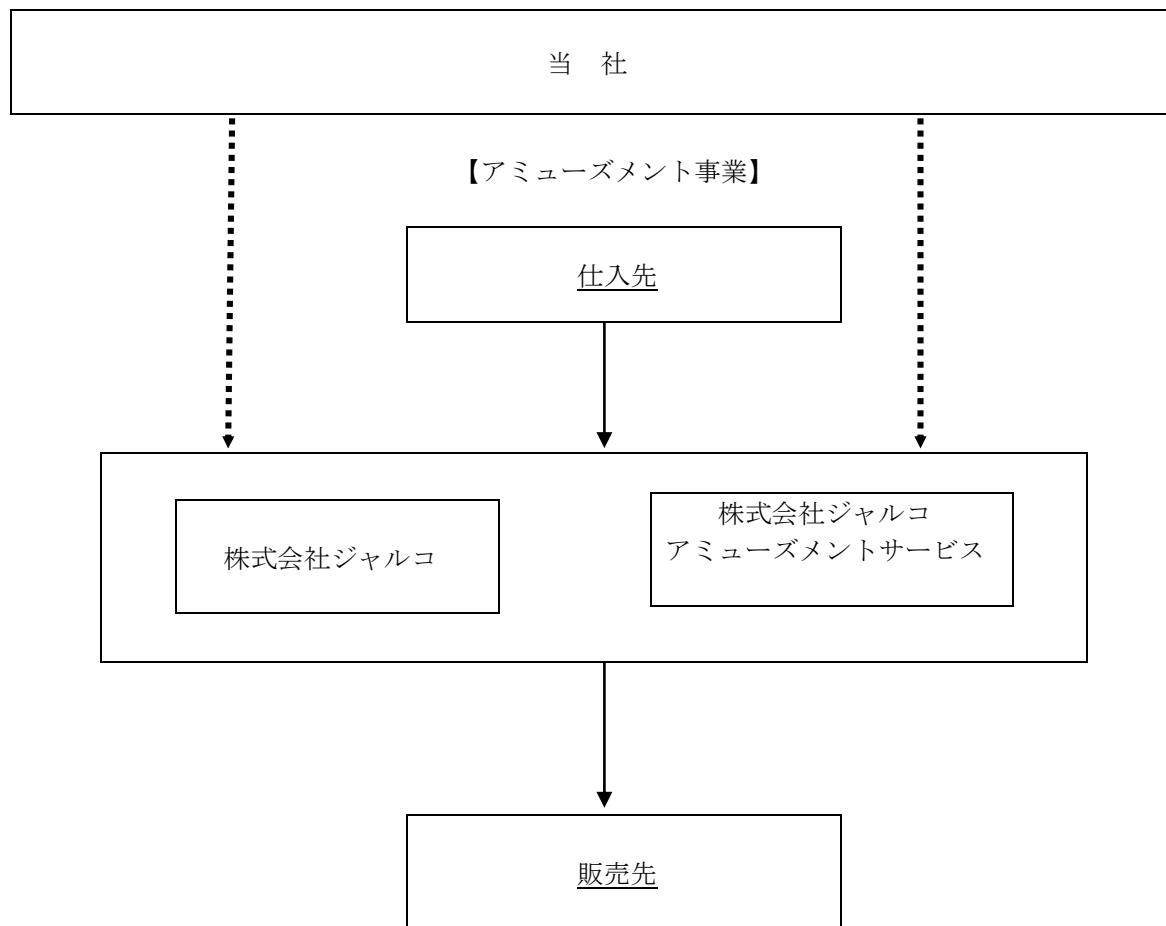
中古パチンコ・パチスロ機器のレンタルを行うとともに、取引対象先ホールの格付や中古遊技台の真正価値を随時調査しております。

(省略)

8 ページ

<訂正前>

事業の系統図は次のとおりであります。

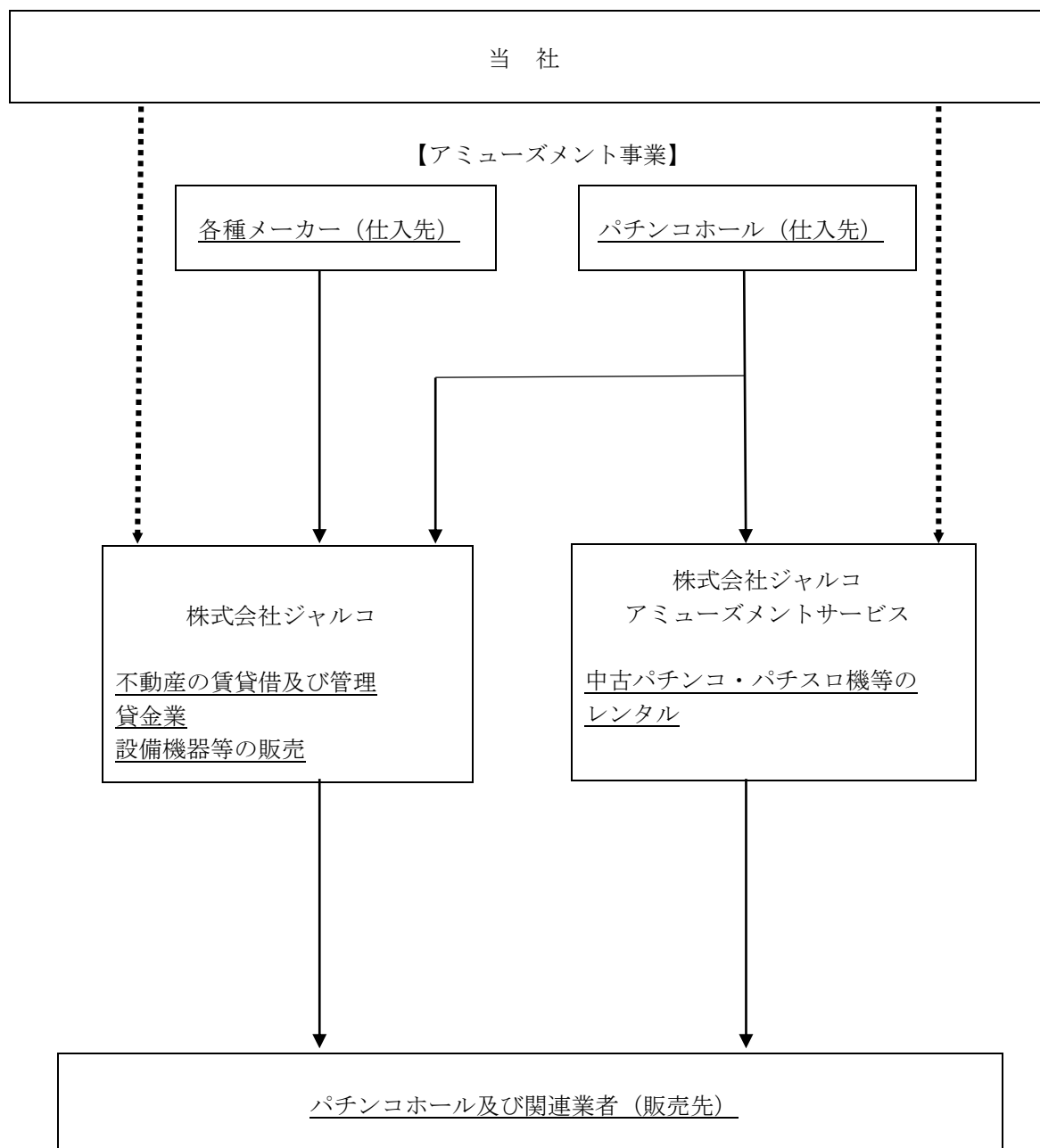


————→ 取引の流れを示しております
.....→ 管理の流れを示しております

株式会社ジャルコの子会社であるPT. JALCO ELECTRONICS INDONESIAは、現在清算手続き中であります。

<訂正後>

事業の系統図は次のとおりであります。



————→ 取引の流れを示しております
.....→ 管理の流れを示しております

株式会社ジャルコの子会社であるPT. JALCO ELECTRONICS INDONESIAは、現在清算手続き中であります。

3. 経営方針

<訂正前>

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、平成 24 年 9 月に電子機器用部品事業の事業譲渡を完了し、現在は、パチンコホールを主たるお客様として、中古遊技機の販売・レンタル、ファイナンス（貸金）、不動産等のオフバランス、及び設備機器等販売などを行うアミューズメント事業に経営資源を集中しております。

パチンコホールは、遊技機の入れ替えを始めとして、設備更新、新規出店など、年間を通して資金需要が旺盛な業種である一方で、パチンコホールの主たる資産である遊技機は、毎年発売されている新機種の 8 割から 9 割が概ね 3 週間程度で旬落ちし、中古機市場で数万円程度の評価になってしまうことから（一方で発売後 6 ヶ月～1 年を経過しても、新台価格（30 万円～40 万円）を上回る価格帯で取引されている機種も存在しますが）、銀行等金融機関との与信取引において、担保資産として活用することが困難であり、保有する不動産等を担保資産とするだけでは、所要資金をタイムリーに調達することが難しい状況が続いております。

これに対して、当社グループは、パチンコホールの経営全般に精通していること、及び中古機相場市場における取引価格を参考に、パチンコホールから入手する日々の情報を織り込むことにより中古遊技機の真正価値を随時（ホールの状況も中古遊技機の価値も日々変化しています。）正確に把握できることなどを強みとして、適正な価格設定、保全対応を実行するノウハウを保有しておりますので、中古遊技機を商材としたパチンコホール向けの高額な取引を行うことが可能であります。加えて、上記のとおり、パチンコ業界におきましては、中古遊技機の販売・レンタル以外にも、パチンコホールが年間を通して資金需要が旺盛な業種であるだけでなく、各ホールとも複数の店舗を運営している関係で、大規模かつ安定的な商機が期待できます。

そこで、当社グループは、当面は、取引における収益性が高く、安定的な需要が見込まれるパチンコホール、及び関連事業者を対象とした事業運営に経営資源を集中させることで、収益力及び経営体質の強化を図ってまいります。具体的には、引き続き、JASにおける遊技機レンタル・割賦販売事業をグループ事業の中核として、事業規模の拡大に重点的に取り組むとともに、ジャルコにおきましても、長年に渡って培ったメーカーとしてのノウハウを活用し、パチンコ・パチスロ機を除くパチンコホール向け設備の販売・設置を行う事業を推進するだけでなく、資金調達、不動産のオフバランス化などパチンコホールが抱える様々なニーズへの対応を可能とすべく事業分野の拡大を図ってまいります。

<訂正後>

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、平成 24 年 9 月に電子機器用部品事業の事業譲渡を完了し、現在は、パチンコホールを主たるお客様として、中古遊技機のレンタル、ファイナンス（貸金）、不動産等のオフバランス、及び設備機器等販売などを行うアミューズメント事業に経営資源を集中しております。

パチンコホールは、遊技機の入れ替えを始めとして、設備更新、新規出店など、年間を通して資金需要が旺盛な業種である一方で、パチンコホールの主たる資産である遊技機は、毎年発売されている新機種の 8 割から 9 割が概ね 3 週間程度で旬落ちし、中古機市場で数万円程度の評価になってしまうことから（一方で発売後 6 ヶ月～1 年を経過しても、新台価格（30 万円～40 万円）を上回る価格帯で取引されている機種も存在しますが）、銀行等金融機関との与信取引において、担保資産として活用することが困難であり、保有する不動産等を担保資産とするだけでは、所要資金をタイムリーに調達することが難しい状況が続いております。

これに対して、当社グループは、パチンコホールの経営全般に精通していること、及び中古機相場市場における取引価格を参考に、パチンコホールから入手する日々の情報を織り込むことにより中古遊技機の真正価値を随時（ホールの状況も中古遊技機の価値も日々変化しています。）正確に把握できることなどを強みとして、適正な価格設定、保全対応を実行するノウハウを保有しておりますので、中古遊技機を商材としたパチンコホール向けの高額な取引を行うことが可能であります。加えて、上記のとおり、パチンコ業界におきましては、中古遊技機のレンタル以外にも、パチンコホールが年間を通して資金需要が旺盛な業種であるだけでなく、各ホールとも複数の店舗を運営している関係で、大規模かつ安定的な商機が期待できます。

そこで、当社グループは、当面は、取引における収益性が高く、安定的な需要が見込まれるパチンコホール、及び関連事業者を対象とした事業運営に経営資源を集中させることで、収益力及び経営体質の強化を図ってまいります。具体的には、引き続き、JASにおける遊技機レンタル事業に加え、割賦販売事業をグループ事業の中核として、事業規模の拡大に重点的に取り組むとともに、ジャルコにおきましても、長年に渡って培ったメーカーとしてのノウハウを活用し、パチンコ・パチスロ機を除くパチンコホール向け設備の販売・設置を行う事業を推進するだけでなく、資金調達、不動産のオフバランス化などパチンコホールが抱える様々なニーズへの対応を可能とすべく事業分野の拡大を図ってまいります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日）

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額(注) 1	連結財務諸表 計上額
	電子機器用 部品事業	<u>遊技機レンタル・ 割賦販売事業</u>		
外部売上	492,130	298,587	—	790,717
セグメント間の売上	—	—	—	—
計	492,130	298,587	—	790,717
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△148,084	52,210	△150,547	△246,421
セグメント資産	434,799	1,052,595	135,473	1,622,867
その他の項目				
減価償却費	41,262	234,115	505	275,882
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,880	728,445	4,316	734,642

(省略)

<訂正後>

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日）

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額(注) 1	連結財務諸表 計上額
	電子機器用 部品事業	<u>遊技機レンタル 事業</u>		
外部売上	492,130	298,587	—	790,717
セグメント間の売上	—	—	—	—
計	492,130	298,587	—	790,717
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△148,084	52,210	△150,547	△246,421
セグメント資産	434,799	1,052,595	135,473	1,622,867
その他の項目				
減価償却費	41,262	234,115	505	275,882
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,880	728,445	4,316	734,642